

2022. 2. 13



† 聖日礼拝 前11時

(司会)

矢部一恵姉

川嶋真理姉

奏楽

詩編一〇二編18節より

招美歌 三三〇(1、3節のみ)

主の祈り 九三(5A)

交誦詩編 一一六

使徒信条 九三(4の1A)

讚美歌 二八

祈禱書 詩編一二二編

聖言 ヨハネによる福音書 5章1〜9、17節

讚美歌 一五五

説教 「見守り、働く神」

佐藤栄一 牧師

祈禱

讚美歌 四七六

献金歌

讚美歌 二七

報告

報告

§ 今週の集会

日曜学校 13日前9時(礼拝のみ)

召天記念礼拝(A兄) 13日後2時

祈禱会 16水前11時(佐藤牧師)

地区婦人委員会 18金後1時半(横浜磯子教会)

* 「召天記念礼拝」のこと

A兄が亡くなられてひと月半。献体されたため、通常の「葬儀」は起こりませんでした。六角橋教会では、「葬りとは、目の前の遺体を、見えないところに、大切にしまうこと」と考えてきたからです。そうしたなかで、「今日のお誕生日に合わせて節目を刻みたい」というおつれあいの想いに応えて、親族中心に「召天記念礼拝」としておこなうことになったわけです。遺族のためにお祈りください。(教会としては、遺骨が戻ってきたときに「偲ぶ会」をおこないたいと考えています。)

〈礼拝当番〉

※ 感染症拡大につき、当面の間は、役員が交替でいたします。

*** 感染症「第6波」を受け**

「まん延防止措置」が続いていますので、先日の役員会で3月6日(日)まで、六角橋アラート「レベル4+」を継続することが決まりました。

① オンライン配信にあずかれる方は、自宅で礼拝を守ってください。

② それ以外の方のために「礼拝の場を確保する」一方、その人数を最小限に抑えることを目的として、(3分割の分散礼拝)は継続します(13日は「神奈川区」「東京都」「埼玉・千葉」の方々です)。

※ 但し、コロナ禍のみならず、風邪・インフルエンザの流行期に入ります。体調に少しでも不安がある方や、公共交通機関を利用する方、人流の多い場所を通る方は出席を控えて下さい。出席される方は、必ず「家族の了解を得て下さい」。

— なお、出席について何か迷われている方は、遠慮なく牧師にご相談ください。なお、教会員以外の方は、それぞれのご都合に合わせていらしてください。同封の「役員会報告」もよくお読みください。

◆ 今日の会堂掃除(2・3F礼拝堂のみ)

礼拝後、有志でお願いします。

ご協力お願いいたします。

◆ 礼拝堂は換気のため、窓を開けています。ひざ掛けのご用意もありますが、どうぞ暖かくして、おいでください。

◆ 「信徒の友」「こころの友」年間購読のご案内

4月からの年間購読希望の方は、係(坂井美智子姉、出口泰子姉、村田佳代子姉)または教会まで。

昨年購読の方には確認の用紙を同封します。新しくお申し込みの方には後日申し込み用封筒をお送りします。2月28日まで。

◆ **教区などの行事案内(詳細は掲示版をご覧ください)**

◆ 神奈川教区社会委員会オンライン講演会

マイノリティを重視する国際人権の潮流と

日本の人権課題

日時 2月16日(水)午後6時～8時

講師 和田献一さん

(部落解放同盟栃木県連大会執行委員長)

※ You Tube配信のみ。

◆ 今日のお花のご奉仕は、平野知亜子姉です。

隠退教師を支える百円献金

分數札拜の間は、毎週お受けしています。

受付の献金箱に自由におさまってください。

* 前週の報告

聖日札拜	12	男	12	女	計	(求)	(献金)
2/9祈祷会	3		9		12	(0)	一八、四七〇円

* ささげもの(オンライン)では割愛

※ 1月30日の献金にお名前のないものがありました。お心当たりの方はどうぞお申し出ください。



1 目を上げて、わたしは山々を仰ぐ。

わたしの助けはどこから来るのか。

2 わたしの助けは来る

天地を造られた主のもとから。

3 どうか、主があなたを助けて

足がよろめかないようにし

まどろむことなく見守ってくださいるように。

4 見よ、イスラエルを見守る方は

まどろむことなく、眠ることもない。

5 主はあなたを見守る方

あなたを覆う陰、あなたの右にいます方。

6 昼、太陽はあなたを撃つことがなく

夜、月もあなたを撃つことがない。

7 主がすべての災いを遠ざけて

あなたを見守り

あなたの魂を見守ってくださいるように。

8 あなたの出で立つのも帰るのも

主が見守ってくださいるように。

今も、そしてとこしえに。

1 その後、ユダヤ人の祭りがあったので、イエスはエルサレムに上られた。

2 エルサレムには羊の門の傍らに、ヘブライ語で「ベトザタ」と呼ばれる池があり、そこには五つの回廊があった。

3 この回廊には、病氣の人、目の見えない人、足の不自由な人、体の麻痺した人などが、大勢横たわっていた。†

5 さて、そこに三十八年も病気で苦しんでいる人がいた。

6 イエスは、その人が横たわっているのを見、また、もう長い間病気であることを知って、「良くなりたいか」と言われた。

7 病人は答えた。「主よ、水が動くとき、わたしを池の中に入れてくれる人がいな

いのです。わたしが行くうちに、ほかの人が先に降りて行くのです。」

8 イエスは言われた。「起き上がりなさい。床を担いで歩きなさい。」

9 すると、その人はすぐに良くなって、床を担いで歩きだした。その日は安息日であった。

17 イエスはお答えになった。「わたしの父は今もなお働いておられる。だから、わたしも働くのだ。」

〒221-0802 横浜市神奈川区六角橋一の二六の八
○四五(四三三)〇六九四
FAX(四三三)〇一九四

郵便振替口座00250・2・979
日本基督教団 六角橋教会